



リニューアル版 ラップニュース

VOL.105

2011.12.1

発行：ラップ東京有限会社

<http://www.raptokyo.co.jp/>

(無断転載厳禁)

◎ラップ東京では、皆様のご参考になるニュースを抜粋し配信しております。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「ネット担当は誰？」

ネットはマーケティングプロセスを連続的につなぐ仕事である。ネットはマーケティングの初級ではなく、超上級なのである。

(日経産業新聞 コラム抜粋)

多くの会社がホームページを運営し、商品を販売したり、サービスを提供するために見積り依頼を受け付けたりしています。最近では、ツイッターやフェイスブック、ブログなども活用している会社も増えていきます。趣味でやっている方もいらっしゃると思いますが、多くの方は自社を知ってもらい、売上げアップのためにお客様との接点を持ち、何らかの情報発信をしたいというのが目的だと思います。ところで実際に、ホームページの担当者やブログなどを行っている方はどのような方なのでしょうか？

いろいろな会社の方に伺ってみると、「ネットが好きの人」や「パソコンの操作に慣れている人」が担当しているケースが多いようです。中には経営者の方がまったくタッチせず、担当者に任せきり、というようなお話を伺うことがあります。確かに一昔前までは、大企業においてもIT担当などを決めて情報の更新などを行っていたようですが、もし、今も「担当者へ任せきり」というような状態だと非常にもったいないと思います。

その理由としてネットは非常に重要な役割を担っているからです。広告や販売促進のツールとしてはもちろん、顧客ニーズの汲み取り、アフターフォローまでネットが担う役割は大きく、競合他社や時勢の研究、顧客に対する理解を深めるというのもネットで行うことができます。自社のホームページが発信している内容や広告など、経営者をはじめ責任者がしっかりと把握し、自社の戦略に合っているか？ライバル社はどうか？など、見た目だけではなく、その「奥」まで研究することも大切だと

思います。

今後どのようなお客様ニーズを、どうやって獲得していくか、といった事業の方向性や戦略を考えられるのは小さな会社なら社長や責任者の方しかいません。「パソコンに詳しい」という担当者がそこまで感覚のある方ならよいのですが、なかなか難しいケースの方が多いのではないのでしょうか。社長や責任者がパソコンやネットに詳しい人とタッグを組んで、ネットを活用してどのように売り上げを伸ばしていくか？ということはもちろん、マーケティングツールとしても活用していくことも重要だと思います。

私が知っている社長は、社長業もしながら、ネット回りの業務を行っています。時には、手が回らないことも多いようですが、社長が最もホームページや広告などに関して理解し、研究をされているように感じます。時には、パソコンの操作でつまづくことがある、とおっしゃっていましたがそれはさほど大きな問題ではありません。パソコン操作をかわりにやってくれる人はいくらでもいますが、社長の代わりをやる人はどこにもいないのですから。

ご案内

ラップ東京は、インターネット関連業務を主としていますが、お客様の困っていること、迷っていることを共に考え、解決する企業であることを目指しています。

ネット、広告活動をはじめ、マーケティングなどお客様と共に考えていきます。

■ ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。
<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったらご意見をお聞かせください。



今年もラップニュースに関してたくさんの応援、激励をいただきました。1年間ありがとうございました